

特別企画

Special Edition

生涯を通じての歯と口の健康(2)

Dental and oral health throughout life(2)

企画要旨

21世紀に入り、65歳以上の高齢者が27%以上という、世界でトップの超高齢社会となったわが国において、歯科医療を取り巻く環境は急激に変化しています。「生涯を通じての歯と口の健康」を守るこのテーマで昨年は第一弾としてまず健全な歯や歯列を最初に完成させるべく小児の歯科の現状について特集いたしました。今回は転じて対象を高齢者に絞り、高齢者化率の急激な増大とそれに伴う全身疾患を有する患者さんの難しい歯科診療時の対応や口腔のケアの低下から生じる誤嚥性肺炎の予防ならびに生活習慣病などの脳血管障害により口腔機能が低下したオーラルフレイルの高齢者への諸検査・診断・治療・口腔衛生指導などについて、高齢者歯科医療の専門家の三先生に寄稿を頂き、それぞれのお立場から最新の解説をお願いすることとなりました。

主な内容とポイント

超高齢社会における口腔健康管理と誤嚥性肺炎予防

米山 武義

今なぜオーラルフレイルが注目されるのか 老年学の視点から

平野 浩彦

高齢者の口腔機能低下症の検査について

佐藤 裕二